

「そんなことが あってはならない」

ルカの福音書20章9-19節

1

また、イエスは人々に対してこのようなたとえを話し始められた。「ある人がぶどう園を造り、それを農夫たちに貸して、長い旅に出た。収穫の時になったので、彼は農夫たちのところに一人のしもべを遣わした。ぶどう園の収穫の一部を納めさせるためであった。ところが農夫たちは、そのしもべを打ちたたき、何も持たせないで帰らせた。そこで別のしもべを遣わしたが、彼らはそのしもべも打ちたたき、辱めたうえで、何も持たせないで帰らせた。彼はさらに三人目のしもべを遣わしたが、彼らはこのしもべにも傷を負わせて追い出した。ルカ20:9-12

2

ぶどう園の主人は言った。『どうしようか。そうだ私の愛する息子を送ろう。この子なら、きっと敬ってくれるだろう。』ところが、農夫たちはその息子を見ると、互いに議論して『あれは跡取りだ。あれを殺してしまおう。そうすれば、相続財産は自分たちのものになる』と言った。そして、彼をぶどう園の外に放り出して、殺してしまった。こうなったら、ぶどう園の主人は彼らをどうするでしょうか。主人はやって来て農夫たちを殺し、ぶどう園をほかの人たちに与えるでしょう。』これを聞いた人たちは、「そんなことが起こってはなりません」と言った。ルカ20:13-16

3

契約を守らなかった農夫

- ところが、農夫たちはそのしもべたちを捕らえて、一人を打ちたたき、一人を殺し、一人を石打ちにした。主人は、前よりも多くの、別のしもべたちを再び遣わしたが、農夫たちは彼らにも同じようにした。 マタイ21:35-36
- 彼らはイエスに言った。「その悪者どもを情け容赦なく滅ぼして、そのぶどう園を、収穫の 때가来れば収穫を納める別の農夫たちに貸すでしょう。」 マタイ21:41

4

このたとえの背景

さあ、わたしは歌おう。わが愛する者のために。そのぶどう畑についての、わが愛の歌を。わが愛する者は、よく肥えた山腹にぶどう畑を持っていた。彼はそこを掘り起こして、石を除き、そこに良いぶどうを植え、その中にやぐらを立て、その中にぶどうの踏み場まで掘り、ぶどうがなるのを心待ちにしていた。ところが、酸いぶどうができてしまった。今、エルサレムの住民とユダの人よ、さあ、わたしとわがぶどう畑との間をさばけ。わがぶどう畑になすべきことで、何かわたしがしなかったことがあるか。なぜ、ぶどうがなるのを心待ちにしていたのに、酸いぶどうができたのか。さあ、今度はわたしがあなたがたに知らせよう。わたしが、わがぶどう畑に対してすることをわたしはその垣を取り払い、荒れすたれるに任せ、その石垣を崩して、踏みつけられるままにする。 イザヤ5:1-5

5

このたとえの背景

彼らの父祖の神、【主】は、彼らのもとに早くからたびたび使者を遣わされた。それは、ご自分の民と、ご自分の住まいをあわれまれたからである。ところが、彼らは神の使者たちを侮り、そのみことばを蔑み、その預言者たちを笑いものにしたので、ついに【主】の激しい憤りが民に対して燃え上がり、もはや癒やされることがないまじになった。主は、彼らのもとにカルデア人の王を攻め上らせた。彼は、聖所の中で若い男たちを剣で殺し、若い男も若い女も、年寄りも弱い者も容赦しなかった。主は、すべてのものを彼の手に渡された。、、、彼は、剣を逃れた残りの者たちをバビロンへ捕らえ移した。こうして彼らは、ペルシア王国が支配権を握るまで、彼とその子たちの奴隷となった。(エルサレム滅亡とバビロン捕囚前586年) II 歴代36:15-20

6

このたとえの意味

- 天よ、聞け。地も耳を傾けよ。【主】が語られるからだ。「子どもたちはわたしが育てて、大きくしたしかし、彼らはわたしに背いた。牛はその飼い主を、ろばは持ち主の飼葉桶を知っている。しかしイスラエルは知らない。わたしの民は悟らない」イザヤ1:2-3
- わたしの民は二つの悪を行った。いのちの水の泉であるわたしを捨て、多くの水溜めを自分たちのために掘ったのだ。水を溜めることのできない壊れた水溜めを。エレミヤ2:13

7

救いようのない人間を救うために

- 「祝福あれ、主の御名によって来られる方、王に。天には平和があるように。栄光がいと高き所にあるように。」ルカ19:38(詩118:26)
- 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。ヨハネ3:16

8

イエスは彼らを見つめて言われた。「では『家を建てる者たちが捨てた石、それが要の石となった』と書いてあるのは、どういうことなのですか。だれでもこの石の上に落ちれば、粉々に砕かれ、またこの石が人の上に落ちれば、その人を押しつぶします。」律法学者たちと祭司長たちは、このたとえ話が自分たちを指して語られたことに気づいた。それでそのとき、イエスに手をかけて捕らえようとしたが、民を恐れた。
ルカ20:17-19

9

救いようのない人間を救うために

- 使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。エペソ2:20
- 『あなたがた家を建てる者たちに捨てられた石、それが要の石となった』というのは、この方のことです。この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」使徒4:11-12

10

救いようのない人間を救うために

- 『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。とげの付いた棒を蹴るのは、あなたには痛い。』使徒26:14
- どんなしもべも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。あなたがたは、神と富とに仕えることはできません。ルカ16:13

11